

令和6年度

## 指定管理者 評価報告書

No.	09	評価区分	I 文化交流施設、スポーツ施設、環境衛生施設、福祉施設
施設名	飛騨市多機能型障がい者支援センター	所管課	総合福祉課
指定管理者	(特非)飛騨市障がいのある人を支える会	地域名	神岡町

## 1 施設の概要

施設所在地	飛騨市神岡町山田2059番地
設置目的	障がい者が自立した日常生活や社会生活を営むことができるよう、生活能力の向上のための援助と就労の機会を提供し、生産活動を通じて、その知識と能力の向上に必要な援助を行うため、総合支援法に基づく障がい福祉サービスの提供及び障がい者支援に必要な事業を実施する。
施設の概要	障がい者多機能型支援センター（生活介護、就労継続支援B型、日中一時、ふれあいスペース）

## 2 指定管理者制度の導入状況

制度の当初導入	令和3年4月	募集の方法	非公募
評価年度の属する指定期間	令和6年度 ～ 令和10年度（5年間）		
利用料金制	無し		

## 3 職員の配置

配置人員	常勤	5
	非常勤	10

## 4 施設利用者の推移

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
利用者数（人）	3,587	3,824	4,714	5,486
前年度増減比（％）		6.6%	23.3%	16.4%

## 5 業務計画における達成状況

実施目標	達成状況
利用者個々の特性に合わせた支援	個々に応じた準備を行い支援できた。
利用者の増加	送迎回数を増やし、利用者の増加、定着に繋がった

## 6 モニタリングによる意見及び苦情等の把握と対応状況

アンケート方式	手段	件数	件
その他の方式	手段	件数	27 件
利用者等からの意見と対応	要望・意見・苦情	対応	
指定管理者に対する意見	① 個々の課題、今後の方針、家庭の様子	個々の状況に合わせて対応している	
	②		
	③		
市に対する意見	①		
	②		
	③		

## 7 地域との交流・連携の取り組み

取り組み	実績及び評価
①ふれあいスペースでの交流 ②アルミ缶、エコキャップ回収	①ふれあいスペースを活用し、地域住民との交流ができています。 ②地域住民のボランティア活動を推進し交流が図れた

## 8 指定管理者からの提案方策の実施状況

取り組み	実績及び評価
地域住民に対するふれあいスペースの利便性向上	日曜・夜間は鍵を近隣住民に預けて休業日等でも利用できるようにしたことで、利便性の向上が図られている。

## 9 自主事業の実施状況

実施内容	実績及び評価
なし	なし

## 10 人材育成の状況

実施内容	対象・回数など
きめ細かい研修の実施(虐待防止等)	施設長を中心に人材育成をしっかりと行っている。 11回開催

## 11 収支に関する状況(経費の縮減)

(単位:千円)

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	主な内容
収入	23,003	26,001	32,856	44,095	
指定管理料	2,000	2,000	2,000	230	ふれあいスペース維持経費
利用料金	0	0	0	0	
純売上高	0	0	0	0	
その他	21,003	24,001	30,856	43,866	サービス給付費
支出	25,777	27,602	28,453	38,167	
売上原価	693	888	1,094	1,262	
人件費	19,313	19,601	20,057	26,322	
光熱水道費	1,158	1,371	1,340	1,460	
設備保全費	54	54	54	54	
修繕費	29	0	4	0	
備品消耗品	211	147	15	0	
清掃費	0	0	0	0	
その他管理費	1,669	1,198	947	1,454	
運営費事務費	1,764	4,205	4,870	4,802	
その他	886	138	72	2,813	
指定管理業務収支	△ 2,774	△ 1,601	4,403	5,928	
自主事業収支					
全体収支	△ 2,774	△ 1,601	4,403	5,928	
備考					

※指定管理料が0円の施設の自主事業収支は、指定管理業務収支に含まれるものとする。

## 12 収入確保に対する取組

取り組み	実績及び評価
・利用者個々に応じた対応 ・送迎回数の増加	利用者個々に応じたきめ細かな支援計画、対応、送迎回数を増やしたことにより利用者の定着・増加に繋がっている。

## 13 経費削減に対する取組

実施内容	実績及び評価
会計ソフトの活用、会計事務所との連携	会計ソフトを効果的に活用している。また、会計事務所と連携し、指導を受けながら経費を削減している。

#### 14 指定管理者の評価

指定管理者制度運営委員会での審査を経て決定された最終評価

大項目	評価	前年	評価に対する内容
平等利用の確保(20)	<b>b</b> (15)	<b>a</b>	3障がいにかかわらず、ひきこもりの方や他事業所で断られた困難ケースも積極的に受け入れている。
施設の効用の発揮(20)	<b>b</b> (15)	<b>a</b>	多機能型事業所として複数の障がいサービスを展開し、利用者の増加に大きくつながっている。今後は、親亡きあとの対応を見据えた地域生活支援拠点として、短期入所の安定した運営に期待している。
安定した管理能力(20)	<b>a</b> (20)	<b>b</b>	日々漫然とサービスを提供するだけでなく将来の姿を見据え今何が大切かを考えながら、家族、行政や関係機関と連携を取り、スタッフ会議、各利用者部署のミーティングを定期的に行い、情報共有や支援の方向性を確認している。
経費の縮減(20)	<b>b</b> (15)	<b>b</b>	工夫をこらしながら、適切に経費の削減を行っている。
自主事業等及び各課で定める項目等(20)	<b>b</b> (15)	<b>b</b>	こどもたちや地域住民等に積極的に福祉事業の啓発を行っている。また、行政と連携しながら新たな取り組みを実施している。
総合評価	<b>B+</b> (80)	<b>B+</b>	施設長を中心に、利用者一人ひとりの特性を見極め、丁寧な対応を行い市が求めている以上の成果を出している。今後本格稼働する短期入所に期待したい。